

第1238回 高知市教育委員会 7月臨時会 議事録

1 開催日 令和2年7月29日(水)

2 教育長開会宣言

3 議事

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 市教委第52号 令和3年度使用高知地区中・義務教育学校教科用図書(学校教育法附則第9条の規定に基づく一般図書を除く。)の採択について
(継続審議)

4 出席者

| | | |
|-----------|-------------|---------|
| (1) 教育委員会 | 1 番教育長 | 山 本 正 篤 |
| | 2 番委員 | 谷 智 子 |
| | 3 番委員 | 西 森 やよい |
| | 4 番委員 | 野 並 誠 二 |
| | 5 番委員 | 森 田 美 佐 |
| (2) 事務局 | 理事 | 貞 廣 岳 士 |
| | 教育次長 | 弘 瀬 健一郎 |
| | 教育政策課長 | 島 内 裕 史 |
| | 学校教育課長 | 溝 渕 隆 彦 |
| | 学校教育課学校教育班長 | 竹 内 清 貴 |
| | 教育政策課長補佐 | 濱 田 光 |
| | 学校教育課指導主事 | 入 江 洋 |
| | 学校教育課指導主事 | 森 岡 亮 |
| | 学校教育課指導主事 | 安 田 和 人 |
| | 教育政策課総務担当係長 | 神 岡 純 子 |
| | 教育政策課主任 | 西 村 夏 海 |

1 令和2年7月29日（水） 午後3時00分～午後5時45分（たかじょう庁舎6階会議室）

2 議事内容

開会 午後3時00分

山本教育長

ただいまから第1238回高知市教育委員会7月臨時会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は谷委員，よろしく願いいたします。

谷委員

はい。

山本教育長

それでは，議案審査に移ります。

本日の議案は1件です。

日程第2 市教委第52号「令和3年度使用高知地区中・義務教育学校教科用図書（学校教育法附則第9条の規定に基づく一般図書を除く。）の採択について」の継続審議に入りたいと思います。この案件は，8月末までの間，時限秘の内容となっておりますので，前回の7月定例会での審議と同様に秘密会といたします。

なお，採決については，種目ごとに順次審議し，決定していくこととしたいと思いますが，よろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

それでは，まず，国語について，説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

中学校教科用図書につきましては全部で16種目ございますので，1種目ごとに，ご説明させていただきます。また，その説明をする際の各発行者の順番は，文部科学省が作成しました「中学校教科書目録」にあります発行者一覧の順に沿って，ご説明させていただきます。

なお，それぞれの教科書には，各社に共通する単元や教材を比較するため，色の付いた付箋を貼っております。その付箋のうち，ピンク色の付箋につきましては，その教科書の特徴をお示ししております。説明の中では，出版社名を略称で説明をさせていただきます。よろしくをお願いします。

それでは，国語からご説明いたします。

国語は，4社のうち，東京書籍，三省堂，光村図書出版の3社が選定されております。

黄色の付箋のページをお開きください。東書は154ページ，三省堂は202ページ，光村は198ページに付箋を貼らせていただいております。

「文学：少年の日の思い出」についてでございます。各社，物語がイメージしやすいような挿絵をとところどころに入れております。

東書，光村については三つ，そのうち一つは1ページ全体を使った挿絵になっております。三省堂については，四つの挿絵を使用しています。また，各社とも本文の下には，新出の漢字や意味を調べる語句などが掲載されております。3社とも昆虫の説明が掲載されておりますが，三省堂と光

村は、イラストも入ってイメージしやすい配慮がされております。中でも光村の方がイラストが細かく、より実物をイメージしやすいイラストになっています。以上が、国語についての説明でございます。

山本教育長

この件に関して、質疑等はありませんか。

西森委員

まず感想を申したいと思います。東京書籍さんの教科書は情報が多いという印象があります。現場の先生方がどうご覧になるか分かりませんが、文字が全般に細かかったり、一つのページに入っている情報が多くて、消化できたらすごい量の知識というかデータが入っているのでしょうか。消化し切るのは結構難しいというような印象を持って拝見をしました。それから、三省堂は今もご言及がございましたとおり、ページの中に絵が入っていたりしています。これはこれで、やはり読む人の癖で、そういうものが好きという人もいるとは思いますが、比較すると光村図書は割と文字だけのページがある。それでも配置が比較的すっきりしているので、文字は文字として集中して読める。読み物として見たときには、本らしい形といいますか、言葉に集中できるという印象を私は感じました。国語の教科書であるので、そういう意味では光村さんはすっきりした内容でいいのではないかと考えております。

それから、一つ質問ですが、戦争を取り上げていない学年もありますか。目次を見ていると、防災の取り上げていたり、戦争の取り上げていたりしますが、各学年で一つは、やはり戦争の話は忘れてはいけないこととされていて、例えば三省堂の一年生とかは、確か防災の話はありますが、戦争がなかったような気がします。多分ないですね。ありますか。戦争への取組方というようなことは、どの教科書も意識はされているということによろしいですか。私が子供のときは必ず毎年入っていて、ある意味そのページを開くのが怖いという思いをずっと、怖いという言い方は良くないかもしれませんが、本当にもう恐ろしいものだという、このページはつらいページだという、ちょっとトラウマ感のあるページとして思っていて、そのことはすごく大事だと思っています。そういった姿勢はどうか。東京書籍は1年生も入っているし、2年生も入っている。もし、お分かりになれば、必ずしも毎年取り上げるわけでもないのかもしれませんが。

学校教育課森岡指導主事

学習指導要領の中で戦争を取り上げることは、絶対という形では載っていないです。各社の特徴というか選んでいる教材、そういったもので取り上げ方が違ってきています。

山本教育長

学年によってでしょうか。光村で言えば、3年の中に「紛争地の看護師」とか、またそんな挿絵が入ったりしています。

西森委員

2年生はどうか。

山本教育長

2年生の光村は入っていなかったです。3年だけです。

西森委員

1年生は、何かちらっとあった気がします。1年生は96ページに「おとなになれなかった弟たちに…」という、すごく心の痛くなるお話が載っています。これを毎回こう、この教科書を読むたびにグサツときて、ああやっぱりいけないと思うものです。全ての教科書はどうかというのはありますが、やはりこういうものには毎年忘れずに触れてほしいと思います。

ほかもそれぞれ工夫はされていると思いますが、そういう意味でも光村のこの部分での鉄板の部分が入っていると私は思います。

谷委員

今のはすごくいいと思いました。私も同じ意見です。

あとはこのブルーのところ、古典の始めのページというところで、光村は「いろは歌」を出しています。この「いろは歌」の154・155ページ辺りの、この古典に対する「古文の言葉の響きや調子を読み慣れよう」というのに適切な教材ではないかと思いました。それでしかも、このきれいな字で書いてあるでしょう。こういうものがやはり国語の世界へ入っていくのに適切かと思います。他社を見てみると、東京書籍は「いろは歌」は出ていますが、光村のような表現の形はしていないし、三省堂はそもそも「いろは歌」がないのではないですか。こういうところから見ると、子供たちもスムーズに中学1年生で入っていける、光村がいいかと思います。

山本教育長

今までいただいたご意見では、光村を評価するご意見が多かったように思います。

森田委員

私は大したことは言えないですが、「少年の日の思い出」というところでは、文字が三省堂さんの方が詰みすぎていたかと思います。その次のページ、204ページに少しイラストがありますけれども、206ページから文章がというよりは、今の中学生は余り字が詰んでいると読む気が失せるのではないかという気がしていて、そう思うと光村さんと東京書籍さんかと思いました。それで、東京書籍さんは文章が終わった後に、「先生の作品に親しもう」というものが紹介で一つあって、光村さんの方は二つ紹介していて、何かそういうところも光村さんでいいのではないかと思います。

少し字は詰んでいた三省堂さんですが、授業が終わったときの「学びの道しるべ」214ページとか、216ページ、これは教員としては、どうやって考えるかといったところがイラストで分かりやすいかと思いますけど、ここは、子供たちはそこまで興味ないですね。先生がやる方ですね。読み方を学ぶというところはイラストがあって分かりやすいかとは思いましたが、それと文字の詰み具合で言えば、今、余り詰んでいるものはお呼びでないという気がして、光村さんかなというのが私の意見です。

山本教育長

それでは国語については、光村図書出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。国語を光村図書出版で決定させていただきます。

では、続きまして、書写に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、書写です。書写は、4社のうち、東京書籍、教育出版、光村図書出版の3社が選定されております。

青色の付箋のページをお開きください。東京書籍が36ページ、教出が46ページ、光村が60ページになっております。各社とも「点画の変化」について、お手本が示されたページでございます。各社とも行書の書き方を説明したページとなっております。

まず、東書をご覧くださいますと、見開き半分がお手本となり、ページの右側にポイントとなる書き方や筆順、学習したことをほかの字にいかす例が提示されております。教出につきましても、東書と同じく見開き半分がお手本となり、隣のページに筆の運びが分かりやすく写真と数字、矢印で提示されております。次に、光村をご覧くださいますと、見開き2ページでお手本として使用し、半紙に近い大きさのお手本となっております。また、お手本の横には筆順が提示されており、QRコードで動画の確認もできるようになっております。以上が、書写についての説明でございます。

山本教育長

大という字は、光村だけがはらっています。ほかの二つは、次の字へ移るために戻しています。これはどちらでも構わないのですか。

学校教育課森岡指導主事

これは行書ですので、次の文字への運びというような形となりまして、楷書とは少し違った形にはなっております。

山本教育長

光村のこれも行書ですか。

学校教育課森岡指導主事

はい。全て行書になっています。

谷委員

楷書と行書の差ですね。

QRコードは、これは3社ともありますか。

学校教育課森岡指導主事

3社ともQRコードについては、準備はされていますが、先ほども言いましたように、光村について、QRコードは動画での確認ができるようになっております。筆の運びというような形で、書き方を書いた動画があります。

山本教育長

実際に書いている動画。

谷委員

筆の動きまでできるということですよ。

学校教育課森岡指導主事

光村のような書き方の動画というものはないです。

谷委員

光村にしかない。

山本教育長

GIGAスクールでタブレットが入るところから言うと。

谷委員

先生もこうやって前で指導されるでしょうけど、やはりこういうものがあれば、動画があるというのはすごく違いますね。

森田委員

光村さんは大きいですね。この大きさというのは先生方に評価はありますか。ほかは小さく書いていますけど。

学校教育課森岡指導主事

より生徒には半紙に近い形での見本やお手本になるので、子供たちは真似しやすいのではないかという評価でございました。

谷委員

このように横にしてこう書く。そのときに、大きさが同じぐらいの感じがいいのでしょうか。

山本教育長

お手本として、こうやって横へ置くのが使いやすいのかもしれない。

西森委員

私は、ちょっと光村は特徴があるという感じがして見ていますけど、すごく悪い言い方をしてしまうと、前半部分が字のドリル的な感じではないですか。ただ、原点に立ち返って書写なので、そういう意味ではお手本に沿って書かせる。ときに大きなお手本も使うという感じで書写らしいと思

っていて、ほかの教科書はめくっていくとすごく資料的というか、いろいろカラフルで、これもデータがいっぱいあります。ただ、一見どこかのページを開くと、社会の資料集とよく分からないような感じがあるという印象を持ちました。これも授業を聞かずに中を読むことが好きというような子にとっては楽しい教科書とは思いましたが、なんとなくデータを詰めて「いろいろ物知りになってね」的な感じの東京書籍さんとか教育出版さんに比べると、光村さんは「書くんですよ、書きましょう」という感じで、書写らしいメッセージが出ているという印象を持ちました。ただ、そうかと思えば、ちゃんと98ページとかで「ユニバーサルデザイン書体ってなんだろう」といった、こういう現代風なものも出ていますし、やはりそれもある意味文字の一つの形式として、書写の教科書らしく取り上げているので、文字が好きになれそうだと感じました。

あと、入学願書の書き方というのが、この光村さんの116ページと教育出版でしたか、入学願書の書き方というのは何か実用的だと思いました。教育出版の107ページには入学願書の書き方と、ご丁寧に志願理由書の書き方なども冒頭部分があります。東京書籍さんは入学願書のような、子供たちにとって直近の課題になっているようなものは載っていましたか。入学願書は目次からは見えなかったですけど、後ろの方にあるのでしょうか。後ろの方の黄色い書写活用ボックスというところですね。ここの8ページにありますね。

谷委員

すごいですね。オンライン。

学校教育課森岡指導主事

黄色の8と書かれたところにあるのではないかと思います。

西森委員

そうですね、入学願書。オンラインなどはどうですか。

谷委員

メールもあります。

西森委員

メールもありますか。それはどの教科書ですか。

森田委員

光村さんの113ページです。

山本教育長

これについても光村を評価する声が多かったと思いますし、あと、私は全ての字の横にQRコードがあるというのは、子供にとってはいいのではないかと思います。ほかにない評価内容になります。

それでは書写については、光村図書出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。書写を光村図書出版で決定させていただきます。

では、続きまして、社会の地理的分野に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、社会地理的分野です。

地理は、4社のうち、東京書籍、教育出版、帝国書院の3社が選定されております。

青色の付箋のページをお開きください。「自然災害と防災」について説明されたページでございます。東書が165ページ、教出が159ページ、帝国が151ページとなっております。3社とも見開き4ページにわたり、今日的課題である防災への取組が取り上げられています。

まず、東書をご覧くださいますと、同世代の中学生による炊き出しの写真の資料が提示されています。支援の仕組みについても説明されています。次に教出をご覧くださいますと、自然災害では地震を中心に資料が提示されています。本県の黒潮町の津波避難タワーの写真も載せられており、液状化についての資料も提示されています。帝国をご覧くださいますと、南海トラフの地震発生時に想定される津波の高さの情報や、訓練を行う本県の須崎市の小学生の写真が提示されています。以上が、地理についての説明でございます。

山本教育長

東京書籍も黒潮町の津波避難タワーの写真が出ていますね。1ページを開いたら、写真があります。ここのほかに建てるタワーはないですね。30何メートルの津波を想定してなので。

谷委員

34メートル。

どの社も、高知のことが足されているということですね。

学校教育課森岡指導主事

ほかのページにも高知県の写真が載っているところがあります。東書の140ページをご覧くださいますと、3章の「日本の様々な地域」というところにおきまして、冒頭のページで五台山からの高知市の写真が掲載されていることで、題材にも高知市が取り上げられております。また、教出を見ていただくと、188ページにはこれも見開き2ページで、高知市の防災学習の様子であるとか、寺田寅彦の像の写真が載っています。

山本教育長

選定委員会の委員さんが評価した項目というのは、何を評価したのですか。特に評価が高かった理由というのは何でしょうか。

学校教育課森岡指導主事

内容のことですか。

山本教育長

内容に関して、どこの出版社のどこの評価が高かったか分かりますか。

学校教育課森岡指導主事

特徴のところでは、ピンクの付箋が各社の特徴になってくるかと思いますが、先ほども説明させていただきました東書でいくと、3編の題材として高知市が取り上げられているところ。教出につきましては、132ページの中ほどになりますが、折り込みがあると思います。宇宙から見た日本の写真、そういったもので昔の写真との比較など、地図から考え合う、表現し合う学習ができるのではないかという工夫がされているという意見。そして、帝国におきましては、学習の振り返りのページにおいて、地理的な見方・考え方を働かせて説明するような問題が設けられているという特徴があります。各社にそれぞれ特徴があるということでご意見をいただいております。

西森委員

私は結構目次を見るのが好きですけど、目次で教育出版は結構特徴があると思っております。どこを見てもいいですけど、教育出版が2ページ・3ページですが、第3章の日本の諸地域とかを見たときに、目次自体で、例えば九州地方「多様な自然が見られる」、そうなんだ。「火山と共に暮らす」、火山と共に暮らしているんだ。「特徴ある自然と多様な農業」というように、要するに何が起きている場所かということが明確に示されているという印象を持ちました。ほかの教科書は、例えば東京書籍で同じ九州を見ると、眺めてみて、そして、「自然環境に適応する人々の工夫」工夫しているだろうな。「自然の制約と克服と利用」制約がきつとあるだろうな。「持続可能な社会を作る」これは多分どこの地域もやっているなとか。要するに、タイトルを見て中身は乞うご期待、読んでみて、そして知識は覚えましょうというように、私には見えてしまいました。

帝国書院も多分そういう意味では割と同じ。帝国書院の方がむしろもっとニュートラルな感じとか、タイトルを見て、このタイトルにはどうもこれらしいことが書いてあるからという、頭出しだけがあり、中身は余り明確に示されていない。そういう意味では教育出版は、最初の段階で結構思い切って総括していると思います。こういうところですよとって、地理にすごくダイナミズムを持たせているというイメージがあります。社会の先生を前にして大変恐縮ですが、地理というのは暗記科目だろうと昔から思っていて、暗記でかなりの部分がいける。残念ながら、はっきり言っつてつまらないとは思っていました。自分が一生行くこともなさそうな場所を、何となく一所懸命、頭で覚えるという。だけど、大人になると本当に面白いです。なるほどこういう歴史があつて、こういう地形でこういうふうに物が成り立っていてとか、どのように物が流動していつているのかとか、ものすごくダイナミズムな科目だと大人になって思いましたけど、そういう意味では、私は教育出版の在り方の方が好きだと思いました。

山本教育長

教育出版の先ほど紹介してくれた見開きのページというのは、衛星写真と何もない時代の伊能さんが歩いて作った地図の対比という、これはすごく興味があるのではないかと思います。本当にきれいに形が合っていて、これは本当にすごいと、子供たちが見ても同じように感じるのではないかと思います。超ハイテクとローテクの比較でしょうか。

谷委員

いいですね。

学校教育課森岡指導主事

新しい学習指導要領の中にも、そういった知識から見方・考え方を働かせながら、背景になった部分がどのようにつながっていったのかということ、やはり子供たちに考えてもらいたい・考えさせるべきだというような意図が含まれています。

山本教育長

それでは社会地理的分野については、教育出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。社会地理的分野については、教育出版で決定させていただきます。

では、続きまして、社会歴史的分野に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、社会歴史的分野です。

歴史は、7社のうち、東京書籍、教育出版、帝国書院の3社が選定されております。

黄色の付箋のページをお開きください。東書は279ページ、教出は287ページ、帝国は285ページになっております。「現代の日本と世界」についての学習のまとめのページとなります。3社とも年表によって、日本と世界の時代の移り変わりと関りを示しております。また、まとめのページにおいて、生徒の思考力、判断力、表現力を育成できるような工夫がされております。

まず、東書をご覧ください。節のまとめの課題を解決することによって、探究課題に取り組めるような構成になっております。次のページにおいてもチャレンジということで、グループで行う課題が提示されています。次に、教出をご覧ください。次のページにおいて、カードを使用し、話し合い活動をさせる中で、自分の考えをまとめ説明させ、学習を振り返るという構成になっております。そして帝国をご覧ください。ステップ1から3において、歴史的な見方・考え方を働かせながら、時代の特色を整理し、考えを深めて、説明する流れとなっております。以上が、歴史についての説明でございます。

谷委員

私がずっと気になっているのは、東書をずっと見ていくと、紙面の下の方が満杯です。これは見にくいです。扱いにくいというか。その時点でちょっと別の方がいいかと思いました。意図があったのかも分かりませんが。

山本教育長

東書はすごく詰め込んでいる感じがしますね。

谷委員

そうですね。

西森委員

歴史のスケールを東書は一番下に持ってきて、教育出版はタイトルの上に持ってきて、帝国書院は右側に縦軸で持ってきています。これは多分、縦か横かでも相当、歴史学者による縦横論争というような論争が出そうだと思います。でも、何にしてもこのページの下というのはごちゃついて見えます。歴史の授業を受けていて、多分余り詳しくない子はどちらがどちらの、鎌倉と江戸時代、どちらが前でしたかぐらいの話になってしまいます。

山本教育長

基本的に歴史順に学んで、年代順に順番に学んでいきます。

谷委員

それに、例えば教出の210ページを見ると、先ほど西森さんが言ったような表題とか課題とか、ここでしたら「クリスマスまでには帰れるさ」という、実際こういうことがあったのですよね。クリスマスまでには帰れるというつもりで行ったけど、そうはいかなかったということですが、こういう表題の書き方。次は「成金の出現」、「パンと平和、民主主義を求めて」、「不戦の誓い」、「わき上がる独立の声」、「憲政の本義を説いて」、「デモクラシーのうねり」、「モボ・モガの登場」、このような、歴史というものに引き込まれるというか、すごくシビリアンな内容があるけれど、歴史の楽しさとか面白さとか、いろいろそういう学習に対する意欲のようなもの、こういう言葉はすごく大事だと思います。そういう工夫をされていると思います。

西森委員

そうですね。278ページで「泡のように膨らむ経済」、しかも、ここが歴史分野ということの衝撃のように。

谷委員

「我が家にテレビがやってきた」とか。

西森委員

平成おじさんですよ。平成おじさん言わないけど。

谷委員

よく考えましたね。

森田委員

谷先生のお話、セリフに引き込まれたというか、歴史らしくないタイトルというか。私は先ほどの地理から見て、今、ちょっと教育出版に傾いていますけど、先ほどの地理もですが、教科書の最初の副題が何を言いたいのかというのは、例えば東京書籍さんはずっと「新しい社会」となっていて、どうしても逃げれるというか、「新しい社会」それは新しい社会だなというような。未来を拓く、歴史を学ぶということは暗記ではなくて、この帝国さんと教育出版は、要するに教科書会社、何を売りたいのかとか、何をコンセプトとしたいのかということをも全面的にまず出して、これはどうでも取れるだろうとか、ちょっとそう思いました。では、この二つを見たときの、そして谷先生のご発言をいただくと、教科書らしくないというか、要するに歴史を覚えるときに、参考書とか問題集とかも一問一答とかありますけど、そういうものは書いていないです。「クリスマスまでには帰れ

るさ」とか書いていないですから、そういう意味で教科書の意味というか意義というか、そういうものがあるかと思いました。

もう一つはこちらの教育出版さんの、何ページだったか忘れましたが、国連の達成したい目標のSDGsをここにきちんと載せていて、帝国書院さんの方は、最初は先ほどの地理のところ見開きにありましたけど、この教育出版さんは地理も歴史も、絶対にそれを考えていかななくてはならないというように両方載っているの、伝えたいことが、やはり私たちが社会を勉強するのは何が目標なのか、より良い社会を目指すためには私たちの行動も考えなくてはいけない、そういうところが語りたいのかと思うと、教育出版さんはいいと思いました。

山本教育長

それでは社会歴史的分野については、教育出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。社会歴史的分野を教育出版で決定させていただきます。

では、続きまして、社会公民的分野に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、社会公民的分野です。

公民は、6社のうち、東京書籍、教育出版、帝国書院の3社が選定されております。

オレンジ色の付箋がついたページをお開きください。「効率と公正」について学習するページとなっております。東書は29ページ、教出も29ページ、帝国は20ページとなっております。3社ともイラストの例を使用しながら、解決についての話し合いを示し、「効率と公正」について学習する構成となっております。

東書をご覧くださいますと、部活動で使う体育館の割り振りを例に、決まりの作成を取り上げ、グループでの話し合いを設定しています。次に、教出をご覧くださいますと、合唱コンクールの練習において、効率と公正について話し合い、学習を行う構成となっております。そして、帝国をご覧くださいますと、防災備蓄倉庫の設置場所について、話し合いによって解決する中で、効率と公正について考える構成となっております。以上が、公民についての説明でございます。

山本教育長

先ほど紹介してもらった中で見ると、教育出版の「じゃんけんが公平か」、これは割と公平と言われるけれども、納得しているかどうかと言われたら違うところもありますし、子供たちにとって案外いいのではないかと思いました。

学校教育課森岡指導主事

より生徒が自分事として考えられることは、合唱コンクールの方が自分事として考えられる題材かと思います。東書はどうしても、体育館などを使っていない部活動もちろんありますし、入っていない生徒もいるとは思いますが。また、防災備蓄倉庫につきましても、ちょっと学校の教育から言うと、もちろん大事なことでございますが、自分事としてなかなか認識しづらい内容かと思います。

西森委員

私の印象で言うと、帝国書院ですが、これはとにかく私はすごく意欲的な教科書だと思っています。ただ、ちょっと癖があるのではないかというのを感じています。今の防災備蓄倉庫の件もそうですが、例えば帝国書院の29～30ページというところがありまして、ここは民主主義と立憲主義、日本国憲法について述べるという公民の非常に大事な場面ですが、ここのスタートがまず「国家権力はなぜ必要か」からスタートします。ほかの教科書を見ていると、恐らくですけど「人権は大事ですよ」という、いかにも教科書ですという、「人権は大事ですよ」、「歴史上このようにして人権

思想が成り立ってきました」というようなことが書かれています。ただ、逆に言えば、それはもうある意味、この国では幸いなことに当たり前すぎる話になっているわけですが、そもそもその対置する概念として国家権力というものが存在して、それは人権というものを制約しがちで、では、なぜ国家権力は必要で、それがどのように憲法で制限とか規制されて、どうやって民主主義、立憲主義、そして人権というところに行くのか、というような辺りが、29～30、31、32辺りを読んでいると、ものすごくやはり意欲的にというか、ダイナミックというか、説き聞かせるように、ものすごく分かりやすい言葉で書かれています。だから、私はこの帝国書院の在り方というのは、すごくいい教科書ではないのだろうかとか、いい本だろうと思っていますし、これを読めば、今までぼやっと「人権大事ですね」と言っていたものが、すごくふに落ちるという感じを持っています。だから、全般にすごく意欲的ではあると思っています。ただ、教科書としたら若干踏み込みすぎかもしれない、そういう考えもあるかもしれない、そういう意味ではちょっと癖があるのだろうかと思いました。

あえて言うなら、副読本としたら是非読んでほしいというような意欲はありますし、自分も読みたいと思いますけど。そういう意味では先ほどの歴史とか地理のような、意欲的にもう少し能動的にダイナミックにはちょっと違う話になりますけど、帝国書院はこの中だと進みすぎという感じは持ちました。ただ、くどいようですがすごくいい本だと思います。ある意味、主権者を育てるという意欲に満ち溢れてというか、なんとなく憲法というものが当たり前のようになり、自分たちに選挙権が何となく与えられているのではなく、「この国を作っていくのは私たちですよ」ということを叩き込むような教科書だと思っているので、これはこれでいいやり方かと思っています。

谷委員

確かに帝国は、すごく引き込まれるような内容の作成になっていると思います。それぞれを見たときに、先ほどの説明を聞いたときに、例えば部活動をどうするのかという、公民の入口なので、実際自分も部活動をどうするかという話し合いをしたこともありますし、生徒にとってもものすごく身近です。だから、これはこれでいいし、合唱もいいし、帝国の防災の備蓄倉庫の新設、三つともどれもいいです。それはすごく認めます。3社ともいいのですが3社とも全部起用というわけにもいかないので、まず、東書は先ほども言いましたように、下がとても、これが決定的に余り良くないと思います。やはり生徒にとっても良くない。

あと、やはりこれからの教科書というのは、コロナの時代も含めて、今後どんなことがあるか分からない、子供が家庭で学習する、そういう機会がどんどん増えてくる可能性もあると考えたときに、自学自習のできやすい教科書が大事ではないかと思っています。教出をずっと見てみると、どのページも大体そうですが、まず、下に関連の、小学校で学んだ、6年生で何を学んだとか、歴史では近世近代ですとか、それから先ほど出てきた持続可能な開発目標というものの、この取り扱っている教材は何に当たりますというのがある。例えば、この54ページでしたら、自由権でしたら、不平等の視点に当たりますとか、全部はめてあります。関係は人権です。これはすごいと思いました。

それと、例えば今の54、55でしたら、どこのページでも同じですけど、公民の窓というものがあります。これは先ほども地理の窓・歴史の窓と、教出は一貫してありますけど、公民の窓というものにヘイトスピーチのことが出ている。だから、先ほどのじゃんけんもそうですけど、「いろんな視点から視点を変えて考えを広げよう」とかいう内容もありますし、あと、「いろんな別のところを調べてみましょう」とかあります。だから、このページだけに限らず、ほかの資料であったり、いろんなものをつなぎ合わせながら子供自身が学べる、そういうことを考えると教出の内容というのは、すごく広がりのある、学びの深まりのある教科書であると思います。子供食堂のことも出ていますよね。

山本教育長

教出の特徴ですが、見ていて余り負担を感じませんよね。東書は何か多く詰め込んでいる感じがして。

谷委員

どうしてでしょうね。字もちょっと小さいですか、そんなことない。色が白っぽいですか。

森田委員

一ついいですか。教育出版さんは、一番最後に欧米の略称という英語のところがあり、AIは何の略かとか、EPAは何とかと言います、EUはヨーロッパ連合と言いますとありますけど、これに先生の評価などはありますか。自分がよく公民で中学生とかと話しているときに、あれは何でしたかと言うときに、載っていると受検に役立つところもあるのではないかと思いましたが、余りそこを先生たちはおっしゃっていませんでしたか。

学校教育課森岡指導主事

特には。

森田委員

ここが一番最後に載っているということが特徴の一つと思いました。自分が受験生でしたら最後に見るという気がしたのと、やはり教育出版さん、共に生きるを貫いているというか、どのページにも、SDGsの右側のページにこれはどこですと書いておられるなど。

谷委員

一貫していますね。

森田委員

そうですね。労働者の権利とかも書いていて、お金はもらわないといけないですが、そういうものを全部知らないと困ります。

山本教育長

どうでしょう。子供たちが開けたときに一番見やすいのではないかと思うのが、教育出版だと思うので、社会公民的分野については、教育出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。社会公民的分野を教育出版で決定させていただきます。

では、続きまして、地図に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、地図です。

地図は、東京書籍、帝国書院の2社のみとなっており、この2社ともが選定されております。

青色の付箋のページをお開きください。「アジア州」を示したページになります。2社とも見開き2ページでアジア州を示しています。東書が30ページ、帝国が20ページになっております。

東書をご覧くださいますと、北極、南極を含め、位置関係が分かりやすい紙面となっております。

帝国をご覧くださいますと、地球のこの範囲を示しているという図を用いて、位置関係を示しており、アジア州を中心に大きく、見ることができる紙面となっております。また、地図活用という質問を掲載し、地図からの読み取りをさせる工夫などがなされております。

次に、各社別の特徴でございますピンク色の付箋のページをお開きください。まず、東書は188ページでございますが、資料として各県の産品や名所などを一覧にしてあり、一目でその県の生産品名や全国の順位などが分かります。次に帝国は96ページについてでございますが、資料活用能力を高め、主体的な学びの力を伸ばすための工夫としまして、「地図活用」を設け、深い学びにつながる構成となっております。以上が、地図についての説明でございます。

西森委員

一見して帝国書院が大きいと思いますけど、ただ、やっぱり地図なので、これぐらいの大きさは欲しいということでしょう。学校によって指定カバンがあるかどうかともあると思いますが、恐らくカバンの限界に挑戦している大きさだと思います。そういう意味で大きい小さい、たかがそれで結構大事な話だとは思いますが。ただ、やはり地図として開いたときに、大きく見て、しかも細部を見て、地図は本当に大きい紙面を使うけど、細かいところまで見なくてはいけないではないですか。だから、そういう意味では大きく見たり小さくしたりする上での一定の大きさというのは必要だろうと思って、やむを得ないのだろうかと思いました。地図として見たときに、そういう意味で大きく見えて小さく見ていくということを含めると、帝国書院の地図はやっぱり迫力があるという印象をまず持ちました。

あと、色彩がやはりそれぞれの社の特徴だと思いますけど、帝国書院さんの色合いというのはやや緑を強めに使っているのでしょうか。だから、すごくビビットです。また後、東京書籍さんの地図はおとなしいです。色合いが優しいというか。若い方は大丈夫でしょうけど、何かそろそろこういう帝国書院のカラフルな方がいいと思うようになってきました。私はそう思います。

谷委員

どうしてこの東京書籍の地図はこんなに重いのですか。何かものすごい量、ページが違いますね。すごく重いですね。

山本教育長

帝国の方はQRコードがありますけれども、そこの中に詳細ページが入っていて、多分、東書さんはそれがきちんとこちらへ入っているのではないかという部分もあるし、衛星写真のところも入っていると先ほど見ましたけど、やはりこれからタブレットが入る中で言うと、QRコードがある方が子供たちにとってはいいのではないかとは思いました。

谷委員

何度も持ってこなければいけませんからね。いろんな物があり、ただでも重いですから。

山本教育長

色は確かにちょっと鮮やかというか、目を引くところがありますね。見やすいと言えば見やすい。

森田委員

こちらの東京書籍のピンクのところ、特徴という話ですが、これは教科書ではなくても見られるものではないかと思って、要するにこういうのは一覧とか、英単語帳のような覚える何か。こちらとピンクで言えば、教科書的というか、ちょっと考えてごらんという話で言えば、こちらの方が教育的かと考えます。

西森委員

ついでに今、思いついたので分かれば教えていただきたいのですが、教科書の文科省の検定するときに、きっとQRコードで何が映るかということも含めて回答されているでしょう。でないとな何を映しているのか分からないという話になります。可能性としたら、QRコードがどんどんバージョンアップされていけば面白いだろうと思いました。教科書を2～3年使っている間に、紙の場合はどうしても資料が古くなるではないですか。それがバージョンアップがどんどんできたら面白いでしょうけど、検定との関係はどうなるのかということ疑問に思ったので。そのうちまた、分かったら教えてください。だって、気づいたらとんでもない好き勝手なものが動画で流されていたら、教科書会社が好きな動画に差し替えて、検定でこんなもの通していないというようなものが。

山本教育長

統計データなどというのは本当に変わります。自分たちが習った順番なども今となったら全然違っていたりするではないですか。試験する子供さんにとってみたら、まさにこれが変えられてしま

うとすぐ迷うところ、「えっ」と言うようなところがあると思うので。子供たちが困るところではないかと、そこはちょっと気を付けてもらいたいと思います。

学校教育課入江指導主事

先ほどの件、発言させていただいてもよろしいでしょうか。

QRコード自体を検定の中で、どうのこうのというのは、実はされていないと思います。なぜかと言いますと、小学校の採択の際にも、実は検定時点でまだQRコードがあるけれども、リンクが繋がってないということがございました。あくまで紙における中身の確認という検定作業が行われていたかと思います。

西森委員

そうですか。抜け道ではないですか。

学校教育課入江指導主事

QRコード自体の飛ぶ先が文科省のホームページで、リンクであったりという場合も実はありまして、当然それが不適切であった場合には指導うんぬんが入るかと思いますが、検定において中身の確認というものはなかったと思います。

西森委員

そうですか。ありがとうございます。

山本教育長

それでは地図については、帝国書院で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。地図を帝国書院で決定させていただきます。

では、続きまして、数学に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、数学です。

数学は、7社のうち、東京書籍、数研出版、日本文教出版の3社が選定されております。

青色の付箋のページをお開きください。東書は91ページ、数研は97ページ、日文は99ページとなっております。各章の始めのページに準備された、その章の学習内容を意識させるとともに、生徒の興味・関心を高めるためのページになっております。

東書をご覧くださいますと、数学での学びを使い、集めた紙パックの枚数を考えさせる内容が掲載されています。数学での学びが生活で役立つ場面を設定しています。次に数研をご覧くださいますと、小学校の理科で使用する上皿天秤を使った簡単な問題が掲載されています。実際に、問題を実演することも可能で、より興味や関心を高めることが出来る内容です。次に日文につきましては、分からない数字を文字に置き換えることで等式を作り、Xの値を求めていく学習が掲載されています。文字を使って身近な問題が解決される気づきにつながる内容となっております。以上が、数学についての説明でございます。

山本教育長

日本文教出版、個人的な意見ですけど、すぐ考えないと分からないような気がします。

森田委員

文教出版さんの99ページを見て、閉じる子がいるのではないのでしょうか。

山本教育長

そのような感じがします。ほかの2社と比べるとちょっとこれはどうなのか、興味を持ってくれるのか。特に最初の一次方程式が、入りのところで言うと、ちょっとこれはどうでしょう。

森田委員

マイナスが出てきた段階で、みんながちょっと戸惑っているのを道具として使っているところで、もうちょっとあっふあっふ言う子が出てくるのではないかという気がしました。

谷委員

いきなり数学という感じになっていますね。だから、何か興味関心というか導入・オリエンテーションのような、そういう何かがないですね。

山本教育長

先生が教え始めるときに、少しとっつきにくいのではないかという気がするのですが。

森田委員

1年生ですよ。

谷委員

1年生でこれだったら、数学ちょっと嫌になるかもしれません。

森田委員

いつも表紙ばかり見ていますけど、数研出版さんの方、「日々の学びに数学的な見方・考え方をやりたい」と表紙にそう書いてありますけど、それを貫きたいのではないかと思います。

西森委員

2年生の数研出版の105ページですが、これは合同の導入のページです。とてもきれいなタイトルとか建築物とか、あと、これはたい焼きを焼いているやつ、2年生の105ページですが、ほかの教科書を見ていると、東京書籍は合同が2年生の111ページに出てきて、文教出版は2年生の96ページに出てきますけど、非常に色彩を重視しているというか、ここは特に図形のページだからだと思います。ちなみに、何でそんなことを思ったかという、あちこちありますが、数研の1年生の162ページがありまして、数研の1年の162ページは万華鏡が描いてあります。そもそもこれは、それこそ表紙の絵もそうですけど、とっつきにくい数学をいかにとっつきやすくするかということ、非常に重視して作ってくれているという印象があります。

尾崎知事が就任された直後のお話ですが、中学3年生とかで数学の問題が解けない人がいて、「かわいそうだ」という発言をされたことがすごく印象に残っていて、中学校の数学は得意な子は神のごとく得意になって、苦手な子は1年生の途中で終わってしまっているのではないですか。そういう不幸な事態を少しでもとっつきやすくして、ついていきやすく、せめて教科書を眺める気になるようにという、そういう意味で表紙含めて、数研出版は工夫してくれているのだろうかという印象を持って拝見しました。

きちんと丸・三角・四角も、ほかの社のいかにも「丸・三角・四角をデザイン化しましたよ」ではなくて、すごくアーティスティックにというか、アールヌーヴォーに仕上がっている感じで素敵かなと思っています。

谷委員

この表紙はどういう考えから出てきた表紙でしょうか。数学の感じではないですよ。

西森委員

ないですよ。多分、その丸・三角・四角を美しくしたのだと思います。ほかの教科書は、1年生が六角形で2年生が丸ですが、東京書籍もそれなりに頑張っている感じはしますが、日本文教出版は何か遊んでいるといっても、ちょっと遊び方が足りない感じです。

谷委員

面白味がないですね。

山本教育長

これもQRコードは数研だけですか。今やってみると、練習問題が出てきて、その練習問題が制限時間を短くしたり長くしたりすることができ、スタートを押したら問題が出てきました。

学校教育課森岡指導主事

東京書籍にもQRコードが入っております。

谷委員

数研出版の1年生の10ページに「ノートの作り方」というものがあります。数学はノートの作り方が大事で、これを見るとすごく分かりやすく、どのように書くのか例が紹介されていますが、このように、11ページの上のところ、「間違いは消さずに残そう」と書いてあります。だから、割と子供たちは間違いを消して、とにかく正解を書いて美しく終わらせたいという気持ちがあるけれど、間違えたところは消さずに、間違いの理由が分かるように残しておきましょう、間違えたところは正しい回答も書きましょう、こういう作り方が大事、数学の学習で1年生のときからずっと大事にしていかなければならない内容です。それで、東書の方を見てみると、ノートの綴り方が8ページにありますけど、全然違います。半ページで少し例を挙げているけど、やっぱり数研の方がずっとノートの作り方の例示もいいかと思います。

山本教育長

それでは数学については、数研出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。数学を数研出版で決定させていただきます。

では、続きまして、理科に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、理科です。

理科は、5社のうち、東京書籍、大日本図書、啓林館の3社が選定されております。

黄色の付箋のページをお開きください。3社とも1年生の教科書をご覧ください。東書は113ページ、大日本は125ページ、啓林館は174ページになっております。再結晶の実験からどのくらいの結晶が取り出せるのかということグラフから求める方法について学習するページになります。各社ともグラフの見せ方には工夫があり、再結晶する量がグラフのどの部分に当たるのか、分かりやすく示してあります。

東書をご覧くださいますと、再結晶の仕組みのポイントを、ほかの例を用いて説明しており、再結晶のイメージがしやすくなっております。また、QRコードを使ってWEB上で再結晶する様子を動画で見ることができるようになっています。次に、大日本につきましては、いろいろな結晶の例が写真で掲載され、物質の種類によって結晶の形が異なることが確認できるように工夫されています。啓林館につきましては、つながりのある内容を示すために、他の学習内容のページが紹介されています。理科については以上でございます。

山本教育長

東書のQRコードはどこに載っていますか。

学校教育課森岡指導主事

初めの方にデジタルワークというものが載っています。東書の7ページ、デジタルコンテンツワークをご覧ください構いませんか。東書の教科書につきましては、ほかの種目についても同じような形で、このDワークというものがついていて、ここでQRコードを読み取って見るような形になっています。

こちらの再結晶の実験は、ゆっくり温度を落としていくと大きな結晶ができたりなど、とても時間の掛かる実験にはなりません。そして、動画で確認できるということは、子供たちにとっても分かりやすいのではないかと思います。また、なかなか理解が難しいというか、1年生の中では理解しづらい内容になっているのを、各社とも再結晶でできる量が分かりやすく示されていると思います。

山本教育長

この動画は面白いですね。温度が下にグラフで出てきて、温度を上げる作業、実際にどういう形で凍っていくか、再結晶するのかというのが分かります。

西森委員

東書、2年生の教科書を見ていましたけど、2年生のときは人体が出てきますね。東京書籍はすごく迫力のある絵ばかりだと思い、大きくてビジュアルがすごい、ただただ圧倒されて見ている、これは好きな先生もいるだろうという印象を思いました。

この辺はどうですか。教える上でこういうところが好きというような話は何かありますか。理科の先生方が、教科書はこういうものがないなど。やっぱり実験して体験しないと分からない科学分野のようなものがあり、ただ、なかなか実験といっても、回数も全員にいきわたるかという中で、QRコードなどで見れるということはすごいと思います。あんなことができるんだと思いながら、見ていました。

学校教育課森岡指導主事

生徒が思考する場面において、イメージ図のようなものが東書にも多く掲載されているページがあるということで、報告書にも書かれています。

西森委員

そうですね。絵を見ているだけでとても面白いです。そういう意味ではすごく迫力があります。大日本さんとかもどうなのでしょう。すごいですね。本当にみんな工夫されていて、啓林館の2年生も142ページと143ページに大きなドラ焼きが出てきて、美味しそうと、まずここで胃袋をつかまれますが、「物質の成り立ち」というすごく硬いタイトルになっていて、そうか、ドラ焼きも化学変化でしたかというような、これは化学変化でいいですかということですか。

谷委員

ドラ焼きは化学変化ですか。

西森委員

物質を加熱したときの变化と書いていますね。化学変化とは言わないですけど。

谷委員

色が変わって焼けるから。

西森委員

そういうことでしょうね。

谷委員

3年生の74ページに「ペンギンの群れ」というものがありますけど、これはどういう意図でしょうか。何か興味をそそります。東書は映像とかあり、面白いと思いますが、これはどういう意図ですか。

学校教育課森岡指導主事

東書の特徴として、単元の最初には、1ページは関連する写真を載せて、生徒の興味関心をつかむという部分で載っていると思います。

谷委員

生命の連続性というテーマに係る。

西森委員

1ページめくると、隣にペンギンちゃんの、こんなかわいいほっこりした写真もあります。

谷委員

ここがスタートで出てくるわけですか。

西森委員

ペンギンの群れの中の茶色いのがひなということですよ。ひなというかまだ子供ですね。

谷委員

科学の不思議な世界というような感じがしますね。

学校教育課森岡指導主事

118ページを見ていただくと、「進化と多様性」というところがあると思います。「鳥類なのに」というところですか。多分、引き付けにはなっているかと思いますが。鳥類でもいろんな種類の鳥類がいるという、進化の過程においてということだと思います。

西森委員

面白いですね。今、ご紹介いただいたページも、右側のページを見ると妙な生き物がごちゃごちゃと描いてあって、目立たないやつが増えますとか、その更に次は、1ページめくったら漫画が載っていたりなど。飽きさせない工夫ですね。面白いです。先ほどのどら焼きは何かあるのか。一瞬家庭科のような。

山本教育長

今、聞いている中で言うと、東書に対する前向きなご意見が多かったかと思います。

谷委員

すごいですね。探求するとか、そういう教科書になっているのは東書ですね。

森田委員

日常の中にどれだけ科学があるのかを、「科学的な見方ができるよ」ということを言いたいのと、おおというような絵がいっぱいある。

谷委員

それをいろんな興味関心にかす。

西森委員

どの社もすごく工夫をされているのはよく分かります。啓林館はプリンとパンで、「ケーキ屋さんやパン屋さんは化学の達人」、啓林館のこういう胃袋をつかむ。

どうしたらいいでしょう。

山本教育長

理科に関して言うと、それぞれ各社の工夫というところの評価も出てきていますけれども、東書に対する評価の声が多かったと思います。

それでは理科については、東京書籍で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。理科を東京書籍で決定させていただきます。

大体1時間半ぐらい経過しましたが、どうでしょうか、一旦休憩を取った方がいいですか。

谷委員

あと何教科残っていますか。

山本教育長

ちょうど半分です。

谷委員

今の感じで、これまでの感じでいくという。

山本教育長

はい。続けてもよろしいですか。

委員一同

—————【はい】—————

山本教育長

では、続きまして、音楽（一般）に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、音楽一般です。

音楽一般は、教育出版、教育芸術社の2社のみが発行されており、この2社ともが選定されています。

青色の付箋のページをお開きください。鑑賞曲として、2社ともシューベルト作曲の「魔王」が掲載されています。教出は1年生の45ページ、教芸につきましては1年生の49ページになっています。2社ともにシューベルト、ゲーテについて、詳しい説明が掲載されています。

教出をご覧くださいますと、見開き2ページを使用し、絵が掲載されており、生徒が風景等をイメージしやすいように工夫されています。また、左側には学習の目標が示されています。教芸をご覧くださいますと、曲目の下の学習の目標が示されており、イラスト等はなく、しっかり鑑賞に集中できるつくりになっています。

また、2社の特徴でございますが、ピンク色の付箋のページをお開きください。まず、教出は32ページについてですが、「進んで学びあおうActive」というページにおいて、創作活動等も教科書に入ってきております。また、学びリンクということで、QRコードを使い、模範の演奏を聴くこともできます。次に、教芸でございますが、プレゼンしようということで、自分の考えや曲の良さなどを友達に伝える活動が教科書に掲載されています。ビブリオバトルといって、国語科などでも本の紹介などで使われる手法で、自分の考えをまとめ、表現する力が育成できます。以上が、音楽一般についての説明でございます。

森田委員

教育出版さんの方の「学びソング」、これの先生方の評価はありますか。これは実際聴けるものですか。QRコードを使って。芸術社の方は、それはいいですか。そういうものに頼るのではなく、私が演奏するという感じなのか、先生はどちらなのかと思いましたので。

学校教育課森岡指導主事

両方ともQRコードは準備されておりまして、教芸の方は裏の方にQRコードが準備はされています。

森田委員

ここですね、失礼しました。あるかないかによって、そんなに意見が分かれるというわけではありませんでしたか。

学校教育課森岡指導主事

そこまでの差ではありませんでした。

森田委員

ありがとうございます。

山本教育長

これはよく分かります。

西森委員

唐突に気が付きましたが、教育芸術社の1年生の20ページに「マイボイス」といって、変声期に関する記述があります。私には余り変声期は関係なかったですが、男の人は多分、誰しも何かしらの道を通ってきたのではないかと思います。それはこちらの教育出版にもありましたか。やっぱり男の人は悩みますか。声が出なくなったとか、昔は歌えた歌が歌えなくなったとかの、こんな声になってしまったとかありますか。

学校教育課森岡指導主事

教育出版の方は24ページに、その変声のことは触れられています。

西森委員

「慌てず無理をしないように。」そういうものなのですね。だから、思春期の入口に、結構いろんなこと、最近はこういう配慮があるのですね。何となくただ、このページだけ見ても教芸さんの方がちょっととっつきやすい感じはしますね。見方によるでしょうし、好みの問題もあると思いますが。教育出版の「慌てず無理をしないように」、優しいとは思いますが、教育芸術社さんの方は、「心掛ける、無理な発声をしない、歌いやすい音域を歌う、声を出してないときは無理をせず全体で響きを感じ取る」、そういった大変優しい、丁寧な説明がされていると思いました。これはやはりクラスの半分の子が抱えている悩みだろうと思いますので、丁寧でいいと思いました。

女の子もあるといいますよね、変声期。こちらの教育出版だと、女の子も「私は今、声が出にくくなって声量を工夫して無理のないように歌っているわ」というので。余り意識してこなかったですが、女の子も多少低くなるとは言いますね。

学校教育課森岡指導主事

中学校の音楽の授業ではないですが、合唱コンクールとかでは女子パートは二つに分かれることが多いです。ソプラノ・アルトに分かれることが多くて、もしかすると女の子の中でも高い音が出やすい子・出にくい子というのがあるので、男の子と同じような悩みというか、私は高い声が出ないという悩みを持っている子はいるかもしれません。

山本教育長

なかなか悩むところですけども、教育芸術社の評価が多かったと思います。私はぱっと見た表紙の絵で言うと、教育芸術社の方が子供にいい受けはするのではないかという気がします。

それでは音楽一般については、教育芸術社で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。音楽一般を教育芸術社で決定させていただきます。

では、続きまして、音楽器楽合奏に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、音楽器楽合奏です。

器楽合奏につきましても音楽一般同様に、教育出版、教育芸術社の2社のみが発行されており、この2社ともが選定されております。

青色の付箋のページをお開きください。教出が37ページ、教芸は40ページになります。和楽器である箏（こと）についての学習ページになります。リコーダーのページと同様に、各部の名称や調弦、爪、姿勢など写真を使用し、生徒が分かりやすいように配慮されております。

教出をご覧くださいますと、学びリンクQRコードが準備されており、調弦法の音や映像が資料として、聞いたり見たりすることができるようになっております。教芸をご覧くださいますと、箏についての豆知識が掲載されており、QRコードでは40ページ左下の遠藤さんのホームページにつながるようになっております。該当ページにQRコードがあるのも特徴です。以上が、音楽器楽合奏についての説明でございます。

野並委員

これは教育芸術社が圧倒的にすごいです。

谷委員

表紙からすごいですね。

野並委員

このギターのところなども泣きそうになります。かつて、このポジションを見つけ出すだけで、数日掛かったということがあります。これが教科書に載っていれば、どれだけ良かったかと思います。これはいいです、すごいです。

谷委員

分かりやすいですか。

野並委員

これは分かりやすいですね。今からでもすぐ弾けます。ここは丁寧ですね。

谷委員

私はこの教育芸術社の表紙もいいですけど、次、開けたときの「ピアノで語るということ」というこの人の書いてあること、「あなたがもしもこれからの人生の中でいいなと思うアーティストや曲を見つけたら、その瞬間を逃さないでほしいと思います。インターネットなどで調べて聴いてみてください。音楽から受ける感動は、あなたの視野を更に広げることになるでしょう」、こういうところからスタートするということはいいいと思います。

山本教育長

ギターのコード進行、コード表も載っているのですね。102ページです。

森田委員

こちらを開いたら、「ピアノで語るということ」がありまして、こちらの場合だとどうですか、音楽の教科書らしいという感じは。ただ、こちらの方は最後にコード進行を書いているので、「ギター弾きたい、俺」と思ったら、こちらの方にコード進行がありますけど、開きたくなるのは中学生であればこちらか、この芸術社さんの方かと思いました。

西森委員

ちなみに中学校の授業でギターはやりますか。

谷委員

私は高校でやりました。

西森委員

高知市はやっていますか。公立の中学生。

谷委員

ギターは新しく出てきたのでしょうか。

学校教育課森岡指導主事

和楽器にしろ、弦楽器にしろ、適宜用いなさいと学習指導要領には載っているので、学校の実態に応じて、借りてきて授業をしたりなどというような学習にはなってくると思います。だから、必ずギターを弾くということではないということです。

山本教育長

箏がある学校も、場合によってはあるわけですか。

学校教育課森岡指導主事

あります。

谷委員

箏は小学校の音楽会などでもあります。

学校教育課森岡指導主事

和楽器でいうと箏が多いかと思います。

西森委員

教育出版の方は指を使って弾く奏法、アポヤンド奏法とアルアイレ奏法などがまず30ページなどに載っていて、こちらの教芸さんは36ページにストローク奏法が載っています。初心者はこちらで

しょうと、どう考えてもそうだろうと思って、カントリーロードでこういうくらいのコードであれば、初心者でもそれらしく弾けるではないですか。教育芸術社さんの36・37辺りだと。こちらの教育出版だと30ページ・31ページとかありますけど、その次のページになると、カリンカとかとても弾けないような感じの難しそうな楽譜が載っていて、レベルが高いと思いました。中学生が何か広く弾けるものを目指しているのだろうか、少し疑問に思ってしまうような感じがしました。

谷委員

カントリーロードですね。

西森委員

カントリーロードですね。これであれば、コードでGとDとEmとCとかで弾けたら全然簡単です。だから、その気になれば。

野並委員

これは大丈夫です。Fが入っていませんから。Fを押さえるのが大変。

谷委員

ジョン・デンバーも出ている、33ページに。

野並委員

その後にクラプトンが出ています。すごいですね。

谷委員

芸術社の教科書は見やすいし興味を持ちますね。

山本教育長

それでは音楽器楽合奏については、教育芸術社で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。音楽器楽合奏を教育芸術社で決定させていただきます。

では、続きまして、美術に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、美術です。

美術は、開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版の3社が発行しており、この3社ともが選定されております。

オレンジ色の付箋がついた1年生教科書の表紙をご覧ください。各社とも表紙いっぱいには作品の写真が使用されており、生徒の興味・関心をひくものになっております。

開隆堂をご覧くださいますと、高村光太郎の白文鳥の彫刻になります。実物よりも大きく拡大をされ、のみで削った跡まで分かるような写真になっております。光村をご覧くださいますと、鑑賞の内容のページに出てくるアンリ・ルソーの作品の一部が表紙として用いられています。鑑賞では、絵から物語を想像させる活動が紹介されております。次に、日文をご覧くださいますと、ヨハネス・フェルメールの真珠の耳飾りの少女の原寸大写真が使われております。油絵の割れや細かな光の具合まで見ることができます。また、裏表紙のQRコードでこの絵の紹介の動画等も準備されております。以上が、美術についての説明でございます。

QRコードにつきましては3社とも準備をしておりますが、表示の仕方でありましてかには違いがございます。

西森委員

本当にどの教科書も見ていてとても楽しいですけど、ただ、やっぱり印象ですが、文教出版はページをめくっていてすごく迫力を感じます。なぜかというのは分析できないですけど、どの教科書

も写真が多く載っていて全部魅力的な作品で素敵ですが、ほかの教科書と比べて、すごくコマ割りとか配置というか、一つ一つが大きいものが使われているのでしょうか。

漫画の表現なども最近では取り上げるのですね。今、手に持っている光村図書の2年・3年の38ページに「火の鳥」がありまして、それから「NARUTO」が載っていたりして、すごく子供たちが喜ぶような題材が取り上げられていると思いました。日本文教出版がすごく全体に迫力があると思いつつ、漫画のページはありますか。なくてもいいですが、なんとなくあるのかなと思いつつ。16ページですか。2年・3年の16ページに私は読んだことがないですが、「あひるの空」という漫画が、これは「あひるの空」ではなくて「ちはやふる」。開隆堂も漫画を確かやっていたと思います。ですが、文教出版のこの漫画のページとかをやっぱり見ても、広く見開きで使っていて、大きいです。全体に作品の載せ方が大きい感じがして、迫力があると思って見ていました。

山本教育長

生徒作品もほかの教科書より多いのではないかという気もします。ただ、文教出版はインパクトがあると思います。

それでは美術については、日本文教出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。美術を日本文教出版で決定させていただきます。

では、続きまして、保健体育に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、保健体育です。

保健体育は、4社のうち、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいの3社が選定されております。

黄色の付箋のページを説明させていただきます。大日本は135ページ、大修館は139ページ、学研は155ページになります。3年生の保健の学習内容であります、感染症の予防について学習するページになっております。3社とも見開き2ページを1時間の学習内容として、分かりやすくまとめられております。

大日本をご覧くださいますと、右ページに資料が四つあり、予防の方法、体を守る仕組みが掲載されております。学習から自分たちの行動を考える構成になっております。大修館をご覧くださいますと、コラムとしてマスクをつける意味や咳エチケットについて説明されております。学研につきましては、ウイルスの写真などを資料としながら、イラストにおいても、より実物をイメージできるような工夫がされております。また、右下には深める問いも準備されており、自分の今後取るべき行動について考えることが出来るように準備されております。以上が、保健体育についての説明でございます。

西森委員

今、お話しくださった黄色い付箋の一つ前ぐらいのページも含めて、感染症のお話が出ていると思います。私が印象に残ったのは、学研さんの153ページにある記述が非常に印象に残りました。「感染症をめぐっては様々な問題があります」ということが書かれている中で、「交通機関が発達して人や物の交流が活発になっている現代では、短期間のうちに世界中に広がる危険があります。さらに、新たな感染症が広がりを見せた場合などに、患者やその家族への偏見や差別などの人権上の問題が起こることもあります」という、まさに今日を言い当てているかのような記述があります。ということは、多分、非常に深い理解に基づいた普遍的な分析がなされた上でこの記述になっているからこそ、今日、こういう想定されてない事態にも対応できているだろうという意味では、この一文だけをもってですが、多分きっと非常に深められた教科書だろうと思いました。

ほかの教科書には、残念ながら差別に関する問題などということは、多分書かれてなかったように思いました。あれば申し訳ないですが。ですから、その話題をみんなで考えなくてはならないということは学校でも必要だと思しますので、重要とっております。一部だけを取り上げて言うのもなんですが、私はそれで非常に学研の教科書がいいと感じたところです。

森田委員

私は学研の方を支持しています。いろいろ評価するところは多くあると思いますが、一つとして索引のところを見ると「性の多様性」というところで、今、LGBTやSOGIという言い方かできていますが、そこにきちんとLGBTが索引としてこれは載っていて、ほかの二つの教科書を索引として見たときはそんなになくて、やはりそれについて悩んでいる子供たちが多数いるところで、ほかの教科書二つの、例えば「思春期の心の変化」といって、男はこうなります、女はこうなります、異性が好きになりますというような、何かそうではない場合もあるというようなことがちょっとこの二つからは想像しにくく、しかも当事者がお写真で載っておられて、LGBTとなれば性の多様性に関して自分も悩んだけれどもという方が、何ページだったか、載っておられるのを先ほど見ました。

谷委員

何ページですか。

森田委員

学研のLGBTが43ページだから、43ページに載っておられます。村木さんという方ですが、教育テレビとかよく出ている人です。そういうことがやはり大事ではないかと、これから非常に思います。

谷委員

確かに、今、言ったようなこういう言葉をきちんと出して提示しているということが、この学研の良さではないかと思えます。どこの教科書会社ともいうことではないと思えます。それと、もう一つ学研でいいと思うのは、スポーツ、五輪。スポーツ関係のことがすごくページを割いて提示されている。すごくやっぱり保健体育の中で部分割してのスポーツというのは非常に重要なところなので、それを紙面でこれだけ割いてやっているのは学研、いいと思えます。

森田委員

学研の37ページはすごいですね。「生活を記録して夢を叶える」とか、スポーツ選手で夢叶えていた人は何回排便したとか、睡眠時間がどうだったとか、すごく何食べたとか、実際、私の大学でもプロに行った選手などは本当に生活節制しているので、やはりただ単に競技が上手い練習ではなくて、やっぱりこういう生活、身体が大事だということも伝えていきますね。

山本教育長

きちんとLGBTをしっかり提示している。一般的に言うと男の子はこうなる、女の子はこうなるという形がないということが評価をできると思えます。

それでは保健体育については、学研教育みらいで決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。保健体育を学研教育みらいで決定させていただきます。

では、続きまして、技術・家庭、技術分野に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、技術・家庭科の技術分野です。

技術は、東京書籍、教育図書、開隆堂出版の3社が発行しており、3社ともが選定されております。生徒はこの教科書1冊を3年間使用いたします。

オレンジ色の付箋がついたページをお開きください。東書は25ページ、教図は29ページ、開隆堂は15ページになります。3社とも材料の特徴についての学習内容のページになります。各社とも写真や図を使用し、分かりやすくまとめられています。

東書をご覧くださいますと、実際の木材のカット写真を使用し、各部の名称について説明がされています。次に、教育図書をご覧くださいますと、文字の大きさも3社の中で一番大きく、見やすくなっており、開隆堂をご覧くださいますと、切り出した板材の木目の様子が分かりやすく表現されており、木材組織の顕微鏡で見た写真も大きく、組織の様子が分かりやすいように配慮されています。以上が、技術についての説明でございます。

森田委員

教育図書さんは文字が確かにかなり大きくてコンパクトですが、これに関しても、これはすごいという感じで、そこまでではないですか。

学校教育課森岡指導主事

そうですね。もう少し情報量がほしいというような感じがします。

はい。例えば見やすいのは見やすいですけど。

谷委員

教育図書さんは分厚いですね。

森田委員

別冊のようなものもあるのですか。

谷委員

別冊もあります。教育図書はすごく見やすいページと、すごく細かくて見えにくいというか、そういうページとがあるような感じがします。

森田委員

もう一つよろしいですか。教育図書さんのハンドブックについて、現場の先生の評価は良かったのかなか、そうでもないか、どうですか。

学校教育課森岡指導主事

実際には実習に重要な内容とかが含まれているというような評価はありますが、別冊になっているので、なくなったりするのではないかという心配もあるという意見が出ていました。

森田委員

なるほど、ありがとうございます。

西森委員

まず、技術はこんなに分厚かっただろうかというのが私の印象です。中学校の頃やっていますか。私たちのころは、女の子は家庭科で、男の子は技術でしたか。

谷委員

小学校で言えば一緒に技術・家庭科、中学校は技術と家庭科。

西森委員

だからやっぱり技術やってないですね。当時からこうでしたかという、本当に何か網羅している分野がすごいと思ひまして。材料と加工をやって、生物育成もやって、エネルギー変換の技術という、もはや意味が分からないものがありまして、情報の技術というのをやって、アナログなトントンカンからスーパーハイテクなところまで全部網羅されています。

ちなみに今は男女両方やるのでしょうか。

学校教育課森岡指導主事

はい。両方やります。

西森委員

「エネルギー変換の技術」とは何かと思って、ページを開いてみましたが、東京書籍は「エネルギー変換の技術」というページが138ページにありまして、率直に言うとそんなにとっつきというか、良くない、ちょっと平板というか、普通というか。どの章立ても大体、申し訳ないですけど、こういう感じで入るようです。教育図書は風力発電と太陽光発電がありまして、私もやっと分かりました、エネルギー変換とは要するにそういうことですよというような感じです。開隆堂さんはこれがまたとんでもないものが出ていて、これは一体何ですかという。

谷委員

それは私もびっくりしました。

西森委員

びっくりしますね。これは私に言わせると、何のことやら分からないですが、とりあえず興味を持ったという感じで迫力がある。やはり子供に対するアプローチの仕方が、申し訳ないですが、東京書籍は少し平板すぎる。最初の出会いの感動は余りないのではないかと思います。その感動を与えようとしてくれているのは残りの2社と思います。インパクトということでは、意味は分かりないですけど、開隆堂の方がインパクトがありまして、ちなみにその後、情報の技術というところで開隆堂の194ページを拝見すると、情報ということなのでつきりコンピューターとかパソコンなのかと思ったら、こういうもので提示されると何かすごいという感じがしまして、やっぱり情報の技術の最初の提示の仕方も、ほかの2社に比べると開隆堂の方が何だろうこれと思わせる強さがある、そういう印象を持ちました。

野並委員

今はこういう、遠隔、こちら側でやって向こうで手術するようなものがあります。名前はダヴィンチとか。

西森委員

これは実際の手術が行われていますか。

野並委員

行われているのではないのでしょうか。

学校教育課森岡指導主事

技術科の目標としまして、この知識とかこういったものをエネルギーも含めてですが、使いながら自分たちの生活をより良くするというのが最終的な目標になってきます。先ほどの140ページの何だこれというような写真があったと思いますが、これは人ができない作業などもエネルギーを使うことで重いものを持ちたり、介護などでいうと、力がない少しご年配の方でも、アシストでエネルギーを使って持ち上げることができますというようなことであるとか、そういったものの紹介になってくるとと思いますが、これをうまく使って子供たちに興味関心を持たすようなことになっていくと思います。

西森委員

ちょっとこじつけで言うと、教育図書さんもそういった工夫はされていると思いますが、言ってみたら、今、既にあるものを提示しているという感じで、開隆堂の方はもうちょっと近未来というか、ちょっとSF的なというのか、そういう感じで、何か強く未来に引っ張っていかうというのが感じられます。

山本教育長

それでは技術・家庭、技術分野については、開隆堂出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。技術・家庭，技術分野を開隆堂出版で決定させていただきます。

では次に技術・家庭，家庭分野ですが，前回の7月定例会において「市教委第51号「令和3年度使用高知地区教科用図書の採択について」」でお諮りし，ご承認いただきましたとおり，技術・家庭，家庭分野の審議につきましては，森田委員にご退席いただくこととなっております。恐れ入りますが，森田委員，ご退席をお願いいたします。

(森田委員退室)

山本教育長

再開します。技術・家庭，家庭分野に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて，技術・家庭科，家庭分野です。

家庭は，東京書籍，教育図書，開隆堂出版の3社が発行しており，3社ともが選定されております。

青色の付箋のページをお開きください。東書は72ページ，教育図書は124ページ，開隆堂は116ページになっております。3社とも「調理実習」の肉料理の調理例を示したページになっております。市内の中学校でもよく実習されている生姜焼きのページとなっております。各社とも写真を使い，見開き2ページで分かりやすく示されております。

東書，開隆堂をご覧くださいと，作業工程が左から右方向へ掲載されています。また，組み合わせで調理する献立の手順についても，掲載されており，生徒は段取りを意識して実習を行うことができるようになっております。教育図書につきましては，上から下へ作業工程が進んでいます。また，アレンジメニューも掲載もされております。以上が，家庭についての説明でございます。

西森委員

何で生姜焼きの作る時間が違うのでしょうか。開隆堂さんが30分ちょっと，ここに図がついてますでしょう。生姜汁を作るところからやっているからでしょうか，30分ぐらいかかることになっていて，教育図書は20分の時短料理になっていて，東京書籍こちらは25分になっています。焼く時間が違うのでしょうか。何でこんなに違うのかと思いながら見ていました。

学校教育課森岡指導主事

教育図書につきましては，豚の生姜焼きのみの作る工程の時間になっています。東書と開隆堂は組み合わせで作る，そばに添えるものの作成の時間も含まれていると思いますので，その時間が長くなっているのかと思います。

西森委員

分かりました。

谷委員

この三つをこうやって比較したときに，まず，実際生活に必要なのは生姜焼きを作るときの副菜と汁物というもの。通常は作ります。これがある方がいい。では，この二つの東書と開隆堂についてはそれが出ているし，それを組み合わせた場合の手順例というものが両方に出ています。ただ，開隆堂の方が見やすいし分かりやすい。こちらの東書はどうも変な色が全体についているのか，見えにくいとか，分かりにくい感じがします。だから，こういうふうにするということが子供にも分かりやすく，しかも，その作ろうとする意欲を持たせる。この三つを2ページ比べただけで，絶対この開隆堂がいいです。

山本教育長

レシピ本として見た場合は，一番これが作りやすいのではないのでしょうか。

谷委員

見やすいし、きれいですね。手順はすごく大事です。プログラミングなどもそうですが、手順というのは大事。絶対載っていないといけないし、いいと思います。

学校教育課森岡指導主事

谷委員がおっしゃったように、先生方の中からも、手順というか流れを、今の子供たちは把握しながら複数の作業を組み立てながらやっていくことがなかなか難しかったりとか、理解しづらかったりするというので、このように出ていると、作業もスムーズにできたりするという意見は出ていました。

谷委員

本当にそうだと思います。

山本教育長

教科書として、子供が見ながら作るにしても、これが一番作りやすいかと思います。

野並委員

中学生の頃ではなくて、将来、20代のときなど、どこかで一人で生活するときに、ボタン付けとかそんな使えるようなものがあるがたいと思います。

山本教育長

本当に技術のときも思いましたけど、技術・家庭科の教科書というのは、大学の単身生活などに持っていたらいいのではないかと思います。

山本教育長

それでは技術・家庭、家庭分野については、開隆堂出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。技術・家庭、家庭分野を開隆堂出版で決定させていただきます。

それでは次の英語に移る前に、森田委員に入室させていただきます。

(森田委員退室)

山本教育長

では、続きまして、英語に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、外国語です。

外国語は、6社のうち、東京書籍、開隆堂、教育出版の3社が選定されております。

青色の付箋のページをお開きください。3社とも1年生の教科書で、東書は59ページ、開隆堂は63ページ、教出は35ページになっております。三人称単数の現在形の学習内容のページで、友達や家族を紹介する内容になっております。各社とも単元の中には、五領域内容を示すマークが準備され、学習の目的が分かりやすく示されております。

東書をご覧くださいと、プレビューから始まり、QRコードで動画を見てイメージを膨らませることができ、ストーリーの間にアクティブをはさみ、学習した内容で友達と話す活動につながっております。QRコードも各ページに準備されております。開隆堂につきましては、センテンス、シンク、インストラクトの流れで学習できるように構成されています。また、QRコードを各ページに準備されています。次に教出をご覧くださいと、アクティブ1～3の中で、五領域について学習をしていく構成になっております。QRコードの準備はされておりますが、レッスンの始めのページに一つのみとなっております。以上が、外国語についての説明でございます。

西森委員

質問させていただきたいのですが、小学校で英語が入りましたけど、中学校の英語のレベルはちょっと上がっていますか。自分が中学生の頃、こんなに難しいことをやっていたらと思うました。中学3年生こんなに難しく、これをやらなければいけないのですね。

学校教育課森岡指導主事

中学校1年生の初めにやっていたようなABCのところ、小学校でもある程度勉強しているような形にはなっているので、復習みたいな形ではないが、さらっと流すというような形で、元の内容であるとか、2年生の内容が1年生に降りてきたりというような形で、内容が少しスライドはしているかと思います。

森田委員

二つお伺いしていいですか。一つ目はワンワールドさんの方でピンク色をつけているものがカードですが、これはかなり評価をしているというイメージなのかということです。例えば、名前よろしくというようなものを、紙さえあればなんとかなるのではないかというような、そういうご意見があったのかどうかということ。

それから、二つ目はニューホライズンさんの方で、辞書の使い方というものを示していて、いろいろ賛否両論あるとは思いますが、もう辞書は古いとか、要するに、例えばアップルとか言えばリンゴとか出てくるようなものとかもいろいろありますけど、やはり辞書が大事という先生方の評価なのかどうという。

学校教育課森岡指導主事

カードにつきましては、その先生たちが準備を、もちろん自分たちですれば代用は全然利くとは思いますが、教員の中にも若年の先生であるとか、強く研究されている先生など幅広いですので、このように教科書に準備がされるとやりやすい先生ももちろんいるだろうということで、その評価は一定あるということです。

あと、辞書引きについてですね。

森田委員

最近、言葉もいろいろ変わるので、辞書ではないものとかも、最近、結構留学生とかも辞書を持っていなかったりするものですから、その辺りどうだろうと思いました。もし、辞書を引くということが大事であれば、やはりこれは大事なところだと思う一方、いろんなメディアを使いこなす方が大事ということとか、あと最近、例えば音声まで出てくる、インターネットとかで英語など言えば音で返してくれたりするのでどうだろうと思いました。

西森委員

3年生の教科書を見ていましたけど、目次の比較のような感じになりますが、現在完了形と現在完了進行形という、もう既に全く分からないパニックになりそうなものがあります。

東京書籍のニューホライズンは目次を見ると、目次が2ページ・3ページですが、一応30ページ辺りに現在完了と現在完了進行形がありますと明記されていて、それでそのページを開いてみると、活用ですか、きちんときれいに並べて書いてあります。この何かパニックになりそうなものというか、大混乱しそうなものがきちんと並べて書いてあります。

サンシャインの教科書になると、私は率直に言うと、この目次からでは何をやっているのかさっぱり読み取れなくて、関係代名詞という日本語があることが分かりますけど、現在完了などは書かれていない。これはどこでやっていますか。サンシャインでは多分3年生なのであるはずですよ。現在完了と現在完了進行形をやっていると思いますけど、分からないので、正直に言ってこの時点で手が止まるというか、自分で復習も予習も分からない。それで、ワンワールドという教育出版だと目次を見れば、これは一応、現在完了と現在完了進行形をどこでやっているかは、レッスン2でやると2ページと3ページに書いてあるので、要するに私は日本語を見ているということになりま

すけれども、日本語で分かる。端的に言ってサンシャインはもう多分日本語しか分からない人には分からない教科書かと、えらく難易度が高いと思いました。

ワンワールドの方はそうって、では、現在完了とか現在完了進行形というものを21ページから30ページにかけてやってくれているようですが、先ほどのニューホライズンほどにまとめて活用を、きちんと、何か困ってしまったときにそこに戻って、「ああそうそう、こういうふうに言葉が変わっていく」というようなことが分かるようにはなっていないです。

ここは結構難解ではなかったですか。当時、なんとなくこなしていましたけど、実のところ決まりきった訳の型にはめてやっていたら、何かこうなったというだけのところで、ニュアンスなどもよく分からないまま。だから、文法というのはやはりどうしても外せない大事なところだとすれば、ニューホライズンのこういう提示の仕方というのは丁寧だと私は思いました。

学校教育課森岡指導主事

先ほどの質問の辞書引きのことですが、学習指導要領の中にも「辞書の使い方に慣れ、活用できるようにすること」とあります。

森田委員

その辞書というのは電子辞書ではなく、本の辞書、紙の辞書ということですか。

山本教育長

今、中学校は紙の辞書をみんな持っていますか。

谷委員

まだ紙の辞書でしょう。

森田委員

サンシャインさんにも載っていますね、「辞書を使いこなそう」ということが。2年生と3年生に載っていますか。1年生は載っているか。

山本教育長

次の学習指導要領でIT活用した電子辞書、そちらの方を活用していく形に、そんなことになっていくのでしょうか。

それでは英語については、東京書籍で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

ありがとうございます。英語を東京書籍で決定させていただきます。

では、続きまして、道徳に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

学校教育課森岡指導主事

続いて、道徳です。

道徳科の教科書につきましては、前回採択が2年前の平成30年度ではございますが、この度の学習指導要領改訂に伴い、検定がなされましたため、採択を行うものでございます。道徳科は、7社のうち、東京書籍、教育出版、学研教育みらいの3社が選定されております。

オレンジ色の付箋がついたページをお開きください。各社3年生の教科書になりますが、目次のページとなっております。3社とも様々なテーマで学習できるように教材が準備され、内容も偏ることなく掲載されております。

東書につきましては、「いのち」と「いじめ」をテーマに、ユニットとしてそれぞれ三つの教材を一まとまりとして掲載されております。また、35時間分の教材の他にも五つの教材が準備され、生徒の実態に応じて教材を選択することが出来るようになっております。教出につきましても、東書と同じ「いのち」と「いじめ」をテーマにユニット学習ができるような構成になっております。

次に学研につきましては、「地球環境」と「夢」をテーマにユニット学習ができるようになっております。

続きまして、黄色の付箋のページをお開きください。東書は175ページ、教出は102ページ、学研は86ページになります。3社とも、読み物資料の「2通の手紙」が掲載されているページになります。各社、挿絵を入れながらストーリーがイメージしやすいように工夫されています。

東書をご覧くださいますと、他の2社とは違い、文章の始めと終わりが省略されており、一部分表現が変わっております。3行目の「高校生ぐらいの二人組の若い女の子は」という部分は他社では、「高校生ぐらいだろうか流行りのファッションに身を包んだ二人組の若い女の子たち」となっております。生徒に考えてもらいたいところに目を向けさせるための工夫だと考えられます。次に教出をご覧くださいますと、題名の下に問いがあり、それを踏まえた上で、教材の読み取りができるようになっております。学研については、資料に出てくる語句で意味の分かりにくそうなものには、下段に説明がされております。また挿絵を多く使用されております。以上が、道徳科についての説明でございます。

山本教育長

東京書籍は必ず最初のところで、こうやって道徳の場合も話し合いの仕方とか、そんなルールをしっかりと書いて、それで始めるような形のような感じですね。ほかの教科書はこういうところに載っているのでしょうか。

谷委員

余りないですね。

山本教育長

ですが、これはすごく大事なところですね。

学校教育課森岡指導主事

東京書籍が一番詳しく書いている形で、教育出版の方にも最初にこんな形ではありますが、さらっと書いているとは思いますが。

谷委員

道徳の時間の展開の仕方というか、授業の在り方というものを生徒自身が分かって取り組むということとはすごく大事で、議論する道徳ということを進められるようになっていきますから、そういう意味では、こういうことをきちんと提示されている東京書籍はいいと思います。

山本教育長

ここも道徳の授業をやっていたら、結構注意してやっていますけど、テーマが面白いというか正解がどこなのかということの方が分かりづらいのを、子供がどう考えるのかということがありまして、こういうことをきちんと最初に分かってなかったら、上手に授業が進んでいかないと思うので、そういう面では評価できるのではないかとします。

西森委員

東京書籍の最後の方にホワイトボード用のペンを使用する、「みんなで意見を書こう」というページがあります。これも面白いです。それこそ消えてしまいますけど、先ほどの数学の間違いは残しておこうという話があったような気もしましたが、こういうみんなで、口で空中戦をやっていると大抵ろくなことにならないのですが、きちんとその場でやって否定してうまくやれたら、なかなか授業として、班で囲んでやっている姿を想像すると面白そうではあります。

学校教育課森岡指導主事

今のコロナのことに限定されますが、なかなかグループ学習というものが密になってできないというときには、こういうホワイトボードとかに書いて筆談ではないですが、そういうことにはうまく利用できたりとか、やはり言葉にはなかなかできないけれど、文字としては出せるというお子さ

んもいて、自分の考えを文字にして友達に知ってもらおうということでは、クリアできるのではないかというイメージです。

山本教育長

確か紙か何か、ボードを子供に配って、書かせるということをやっていましたね。

学校教育課森岡指導主事

ホワイトボードを準備しているような学校もあります。

谷委員

対話的な学びというのは頻繁に対面して話をするということではなくて、本と対話する学びであったり、書いたものをお互いに理解しあうとか、対話的な学びという言葉自体のやり方というか、すごく幅広いです。だから今後、そういうことも工夫をしていかなければいけないということです。そういう意味で、そういうことが工夫できる一つの手法というか、そういうものが東書に提示されているということでしょうか。

山本教育長

それでは道德については、東京書籍で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

—————【異議なし】—————

山本教育長

以上で、一通り採択が終わりましたので、最後に確認させていただきます。

まず、国語につきましては光村図書です。書写は光村図書、社会につきましては、地理的分野、歴史的分野、公民的分野ともに教育出版、地図は帝国書院、数学は数研出版、理科は東京書籍、音楽は、一般、器楽合奏ともに教育芸術社、美術は日本文教出版、保健体育は学研教育みらい、技術・家庭は、技術分野、家庭分野ともに開隆堂出版、英語は東京書籍、道德は東京書籍、以上で間違いないでしょうか。

それでは、この内容で決定をいたしましたので、よろしくお願いいたします。

秘密会を解きます。

以上で、本日の議事日程は全て終了いたしました。これで教育委員会を閉会いたします。

閉会 午後5時45分

署名

教育長

2番委員